

2025 年度 インカレ出場枠決定方式に関する競技部からのご提案

2025 年度のインカレ出場枠数について 9 月に開催予定の日学理事会にて最終決定される。例年通り 5 枠となるか、あるいは 4 枠となるかは現時点で不明である。このため、I 部リーグにおけるインカレ出場チームの決定方法について、競技部にて協議を行った(7/15)。その結果、以下の方式を提案します。

1. リーグ戦方式

- ・1 巡目: 10 チームによる総当たり戦(全 9 試合)
- ・2 巡目: 順位により以下の通り分割
 - 上位 4 チームによる上位リーグ
 - 下位 6 チームによる下位リーグ

2. インカレ出場枠が「4 枠」の場合の特別措置(5 枠だった場合は実施しない)

■ チャレンジマッチ方式

- ・目的: 1 巡目時点でインカレ出場チームを決定しないという原則の継承
- ・対戦: 2 巡目終了後、4 位チームと 5 位チームによるプレーオフを実施
- ・形式:
 - ・4 位チームには「1 勝のアドバンテージ」を与える
 - ・5 位チームは 2 勝が必要(最大 2 試合)
 - ・初戦で 4 位が敗戦した場合、第 2 戦は 4 位チームのホームコートで実施する

3. チャレンジマッチ実施における懸念事項

・インカレ抽選会に間に合わせる必要がある場合、最終戦(2 巡目最終日)を 11 月 1 日とし、以下のスケジュールでの実施を想定

- ・11 月 3 日: チャレンジマッチ第 1 戦
- ・11 月 4 日: 第 2 戦(必要な場合、4 位チームホームにて)

※上記スケジュールでは、両チームにとってコンディション調整が困難であり、過密日程が懸念されるため、

11 月 8 日・9 日にチャレンジマッチを行えるよう、日学に確認・配慮を要請できるのかについて執行部に確認する。

4. 方式に関する比較・考察

方式	特徴	懸念点
4-6 方式(上位 4・下位 6)	インカレ枠が 4 の場合のみチャレンジマッチを実施可能	下位の 5 位にチャンスを与える形式であるが、スケジュール過密については検討が必要
6-4 方式(上位 6・下位 4)	インカレ枠数にかかわらず、6 チームでインカレ争いが可能	下位 4 チームは 1 巡目でインカレ出場の可能性が消える
5-5 方式	公平に分かれるが、インカレ枠が 5 だった場合に 1 巡目で出場決定の可能性(4 だった場合は一巡目で決定しない)	最終日に試合がないチームが出るなど、運営上のバランスが難しい

5. まとめ

2026 年度からは、I 部 8 チームによる 2 巡制の導入が予定されており、今後の制度設計においても「競技力の強化」という視点が重要となります。

競技部としては、以下の 2 点を特に重視しています。

- ① 安心・安全に試合を進行できる体制の整備
- ② インカレ出場枠を一巡目で確定させない仕組みの構築

これらの観点から、3 時間に及ぶ議論の末に、「チャレンジマッチ方式」の導入が有効であると判断しました。

この方式は、

- ・上位チームにとっては、最後まで緊張感を持って試合に臨める
- ・下位チームにとっても、順位決定に注力しつつ、インカレ出場の可能性を最後まで維持できるメリットがあり、上位・下位ともに競技力向上に資する仕組みであると整理されました。